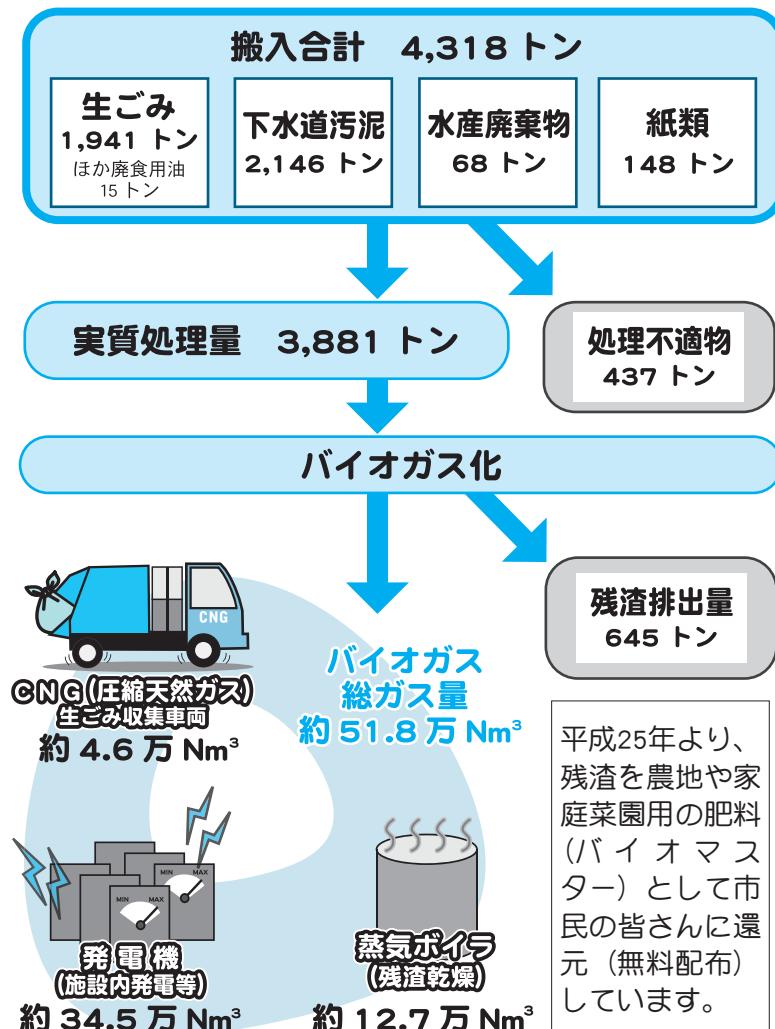


平成25年度 搬入・処理量のイメージ



平成24年4月から本稼働している、市バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)の運営状況をお知らせします。

◆平成25年度の搬入実績

平成25年度は、全体で4,318トンの生ごみ等の搬入を行い、そのうち処理ができない不適物437トンを除いた3,881トンからバイオガスを回収しました。

生ごみから回収したバイオガスは総ガス量518,366 Nm³(※)となり、生ごみ収集車両の燃料、蒸気ボイラ(残渣乾燥用)、ガスエンジン式発電機(施設内電力、メタン発酵槽の加温用熱源等)のエネルギーとして活用しています。

※Nm³:ノルマン立方メートルとは標準状態(0°C、1atm)でのガス量を表す単位です。

5トンとなり、16.6%(約6分の1)まで生ごみの量を減らすことができました。

また、一般ごみ、資源ごみの中に生ごみの混入が多くみられます。また、ごみステーションから回収した生ごみの中に処理ができない不適物の混入が多くみられます。

市では、本市をはじめ全国の皆さんに「日本のてつべん応援基金」を募り、それらを財源の一部として次世代に繋がる特色ある事業に取り組んでいます。皆さんの思いを反映した事業に活用していきます。

市では、本市をはじめ全国の皆さんに「日本のてつべん応援基金」を募り、それらを財源の一部として次世代に繋がる特色ある事業に取り組んでいます。皆さんの思いを反映した事業に活用することができます。

市では、ご協力をお願いします。寄付金の使い道は、次の6つの事業から指定することができます。

市では、ご協力をお願いします。寄付金の使い道は、次の6つの事業から指定することができます。

バイオエネルギーセンターの運営状況をお知らせします

1気圧に換算した1m³のガス量を表しています。

ふるさと納税

日本のてつべん応援基金にご協力を

ギー及び省エネルギーへの寄付金を南極観測隊越冬隊関係者を招いた講演会等で活用したほか、文化及びスポーツへの寄付金を「稚内ラン祭」に活用しました。

※寄付申込書は市ホームページからダウンロードできます。

119番の適正な通報・利用をお願いします

消防隊や救急隊が迅速に災害現場に到着するためには、住所や災害の内容などの正しい通報が必要です。

通報の際は、慌てずゆっくりと話してください。

◆119番通報の際、必ず伝えて欲しいこと

- ① 「火事」なのか「救急・救助」なのか
- ② 住所(災害場所や近くの目標物)
- ③ 火災・事故などの状況(何が燃えているのか、どのような状況なのか)
- ④ 逃げ遅れた人はいないか
- ⑤ 通報者の氏名、電話番号

救急の場合は

- ① 住所(近くの目標物)
- ② 誰がどうしたのか(事故か急病か)
- ③ 通報者の氏名、電話番号



※救急通報の際、通報内容から心肺停止状態であることが分かった場合、傷病者への気道の確保、人工呼吸、心臓マッサージ、近くにAEDがある場合はAEDの使用をお願いすることがあります。

救急隊到着までの重要な処置ですので、ご協力をお願いします。

問い合わせ/

稚内消防署警防グループ ☎23-2176

緊急時の通報は 119
災害時の問い合わせは 23-8119

寄付状況(平成26年9月末現在)

	件数	金額
平成24年度	25	299万2千円
平成25年度	44	543万3千円
平成26年度	26	315万2千円

- ① 教育及び少子化対策
- ② 国内及び国際交流
- ③ 福祉及び医療
- ④ 環境・新エネルギー及び省エネルギー
- ⑤ 地場産業
- ⑥ 文化及びスポーツ

今年度は、教育及び少子化対策への寄付金を、「図書館巡回事業」に活用しています。また、環境・新エネルギー

寄付の方法/

寄付申込書で寄付金の使い道を指定し、必要事項を記入のうえ、郵送、ファックス、メールのいずれかで申し込みください。

申し込み確認後、市から振り込み方法についてご案内します。

申し込み・問い合わせ/

市秘書広報課秘書グループ

TEL 097-86686

FAX 23-3281

E-mail hisyokoho@city.wa

kkanai.hokkaido.jp